

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-92721 (P2019-92721A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2017-223575 (P2017-223575)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 12 日 (2019.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を実行可能な遊技機であって、

遊技媒体が入賞可能な第 1 入賞領域および第 2 入賞領域と、

前記第 1 入賞領域に入賞した遊技媒体を検出可能な第 1 検出手段と、

前記第 2 入賞領域に入賞した遊技媒体を検出可能な第 2 検出手段と、

前記第 2 入賞領域に遊技媒体が入賞容易な第 1 状態と、遊技媒体が入賞困難な第 2 状態とに制御可能な可変入賞手段と、

前記第 1 検出手段により遊技媒体が検出されたことにもとづいて第 1 特定演出を実行可能であり、前記第 2 検出手段により遊技媒体が検出されたことにもとづいて第 2 特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記第 1 入賞領域に入賞した遊技媒体が前記第 1 検出手段に検出されるまでに流下する距離と、前記第 2 入賞領域に入賞した遊技媒体が前記第 2 検出手段に検出されるまでに流下する距離とが異なり、

前記第 1 検出手段により遊技媒体が検出されてから前記第 1 特定演出を実行するまでの期間と、前記第 2 検出手段により遊技媒体が検出されてから前記第 2 特定演出を実行するまでの期間とが異なる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を実行可能な遊技機であって、遊技媒体 (例えば、遊技球) が入賞可能な第 1 入賞領域 (例えば、第 1 始動入賞口 1 3、第 3 始動入賞口 1 2、第 1 大入賞口) および第 2 入賞領域 (例えば、第 2 始動入賞口 1 4、第 2 大入賞口) と、第 1 入賞領域に入賞した遊技媒体を検出可能な第 1 検出手段 (例えば、第 1 始動口スイッチ 1 3 a、第 3 始動口スイッチ 1 2 a、第 1 カウントスイッチ 2 3 A) と、第 2 入

賞領域に入賞した遊技媒体を検出可能な第2検出手段（例えば、第2始動口スイッチ14a、第2カウントスイッチ23B）と、第2入賞領域に遊技媒体が入賞容易な第1状態と、遊技媒体が入賞困難な第2状態とに制御可能な可変入賞手段と、第1検出手段により遊技媒体が検出されたことにもとづいて第1特定演出（例えば、第1保留表示の表示、第1大入賞口への遊技球の入賞にもとづく総賞球数表示の更新）を実行可能であり、第2検出手段により遊技媒体が検出されたことにもとづいて第2特定演出（例えば、第2保留表示の表示、第2大入賞口への遊技球の入賞にもとづく総賞球数表示の更新）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100における、ステップS800を実行することにより第1保留表示および第2保留表示を表示する部分、ステップS2909、S2912、S3910、S3913を実行することにより総賞球数表示の更新を行う部分）と、を備え、第1入賞領域に入賞した遊技媒体が第1検出手段に検出されるまでに流下する距離と、第2入賞領域に入賞した遊技媒体が第2検出手段に検出されるまでに流下する距離とが異なり（例えば、各始動入賞口へ入賞した遊技球が各始動口スイッチによって検出されるまでに流下する距離は、始動入賞口毎に異なり（図2参照）、各大入賞口へ入賞した遊技球が各カウントスイッチによって検出されるまでに流下する距離は、大入賞口毎に異なる）、第1検出手段により遊技媒体が検出されてから第1特定演出を実行するまでの期間と、第2検出手段により遊技媒体が検出されてから第2特定演出を実行するまでの期間とが異なる（例えば、第1始動口スイッチ13aにより遊技球が検出されてから第1保留表示を表示するまでの期間と、第2始動口スイッチ14aにより遊技球が検出されてから第2保留表示を表示するまでの期間と、第3始動口スイッチ12aにより遊技球が検出されてから第1保留表示を表示するまでの期間とが異なり（図25参照）、第1カウントスイッチ23Aにより遊技球が検出されてから総賞球数表示が更新されるまでの期間と、第2カウントスイッチ23Bにより遊技球が検出されてから総賞球数表示が更新されるまでの期間とが異なる（図26参照））ことを特徴とする。そのような構成によれば、演出効果を高めることができる。